

令和4年度事業計画

株式会社 滋賀食肉市場

1 基本方針

当法人は、依然として多額の累積債務と債務超過を抱える厳しい経営環境にあり、「食肉の効率的・衛生的な加工処理を推進し、安全でおいしい食肉を顧客に届けるとともに、近江牛ブランドの更なる発展に寄与する。」を経営理念において、令和4年度においても引き続き健全経営に向けた取組を進める。

安全・安心を基本としながらと畜解体処理、枝肉等の受託販売、さらには部分肉加工等の事業を円滑に進めるとともに、「株式会社滋賀食肉市場経営改善計画」をベースに効率的な経営と経営改善に取り組み、引き続き経営の健全化に努める。

2 事業計画

(1) 安全対策の充実

ア 食肉の安全・安心の確保

安全安心な食肉の提供に向けて取組をより一層強化させるため、食品安全マネジメントシステムによる内部コミュニケーションの充実を図る。

イ 労働安全衛生の充実

- ・職場で働く従業員の安全や健康維持の増進を図るため、職場環境の整備、充実に努める。
- ・労働災害、とりわけ業務災害の発生を未然に防止するため、安全衛生推進者を中心に安全衛生のための注意喚起や教育の実施など、労働安全のより一層の推進を図る。

(2) 経営改善等への取組

ア 改善計画に対する取組

引き続き目標達成に向け収益の確保と経費の削減など着実な努力を重ね、「株式会社滋賀食肉市場経営改善計画」を推進しながら安定的な経営の実現を目指す。

イ 将来を見据えた市場に向けて

県において食肉センターの将来のあり方についての検討が進められており、移転開設から今日までの運営に当たったの問題点等について、機会あるごとに滋賀食肉公社ならびに県と意見交換し、連携を図りながら将来を見据えた組織形態や経営に裏打ちされた効率的な事業運営の構築を図っていく。

収 支 見 込

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
1 売 上 高				
受託販売手数料	255,690	244,243	11,447	
と畜解体料	77,807	77,021	786	
受取冷蔵保管料	13,479	14,118	△ 639	
自家割手数料	18,304	19,624	△ 1,320	
加工手数料	42,845	42,498	347	
売上高計 (A)	408,125	397,504	10,621	
2 販売費および一般管理費				
施設使用料	53,000	51,000	2,000	
出荷奨励金	97,491	97,317	174	
人件費	182,260	177,770	4,490	
その他管理費	73,035	72,730	305	
販売費および一般管理費計 (B)	405,786	398,817	6,969	
3 営業利益(C)=(A)-(B)	2,339	△ 1,313	3,652	
4 営業外収益				
受取補助金等	12,500	13,000	△ 500	
雑収入	7,505	15,104	△ 7,599	
営業外収益計 (D)	20,005	28,104	△ 8,099	
5 営業外費用				
支払利息	850	500	350	
営業外費用計 (E)	850	500	350	
6 経常利益	21,494	26,291	△ 4,797	
(F)=(C)+(D)-(E)				
7 税引前当期純利益 (G)	21,494	26,291	△ 4,797	
8 法人税等 (H)	185	185	-	
9 当期純利益(I)=(G)-(H)	21,309	26,106	△ 4,797	

令和3年度事業報告

株式会社 滋賀食肉市場

1 事業概要

滋賀県の食肉の生産および流通の拠点である滋賀食肉センターにおいて、HACCP（危害分析・重要管理点）方式による衛生管理を徹底したと畜解体業務や食肉処理等の業務を行い、安全な食肉を安定的に供給した。

2 事業実績

衛生品質管理技術の向上と業務運営体制の充実を図るとともに、と畜解体技術の向上を図る対策に取り組むなど、業務改善や経営の健全化に努めた。

(1) と畜解体業務

と畜場法その他の関連法令等を遵守し、衛生的な処理と管理に努めた。

牛と畜頭数（うち輸出用）

計画	8,450頭	(563頭)
実績	8,352頭	(498頭)

(2) 枝肉の受託販売

出荷者の出荷計画を基にと畜頭数の平準化を図るとともに、需要期においても計画的に上場できるよう調整を図った。

牛せり上場頭数

計画	2,770頭
実績	3,109頭

(3) 枝肉の冷蔵保管

温度管理を徹底し、品質の維持に努めた。

(4) 部分肉の受託加工および冷蔵保管

食品安全マネジメントシステム（FSMS）による内部コミュニケーションの充実を図り、安全・安心思想の徹底を図ることにより、品質の維持を図り、信頼性の高い製品づくりに努めた。

牛部分肉加工頭数

計画	983.0頭
実績	893.5頭

(5) 経営改善に係る取組

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出される中でも、ふるさと納税効果もあり一年を通じて枝肉価格は堅調に推移した。そうした効果もあり、と畜頭数は前年度より減少したものの取引形態における上場率は堅調に推移しており、受託販売手数料が大幅に伸びた。

こうしたことが大きな要因となり7期連続の単年度黒字となった。

損 益 計 算 書

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	金 額	
売 上 高		
受託販売手数料	284,790,164	
買付品売上高	121,518,428	
と畜解体料	77,100,324	
受取冷蔵保管料	13,437,152	
自家割手数料	17,252,400	
加工手数料	41,695,077	555,793,545
売 上 原 価		
買付品売上原価		121,518,428
売上総利益		434,275,117
販売費および一般管理費		
施設使用料	54,718,791	
出荷奨励金	98,775,302	
人件費	179,826,413	
その他管理費	73,183,823	406,504,329
営業利益		27,770,788
営業外収益		
受取利息	3,046	
受取配当金	2,500	
受取補助金等	12,557,047	
雑収入	7,248,927	19,811,520
営業外費用		
支払利息		847,000
経常利益		46,735,308
税引前当期純利益		46,735,308
法人税等		185,500
当期純利益		46,549,808

貸 借 対 照 表

令和 4 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	406,469,249	流 動 負 債	464,670,063
現 金 預 金	195,563,950	受 託 販 売 未 払 金	154,246,582
売 掛 金	165,642,923	短 期 借 入 金	190,000,000
未 収 入 金	36,279,298	施 設 未 払 費	80,394,263
未 収 収 益	9,382,182	未 払 費 用	17,586,312
立 替 金	13,390	未 払 法 人 税 等	185,500
仮 払 金	58,410	預 り 金	22,257,406
前 払 費 用	129,096	固 定 負 債	128,318,313
貸 倒 引 当 金	△ 600,000	長 期 借 入 金	52,488,313
固 定 資 産	10,100,245	受 取 保 証 金	75,830,000
有 形 固 定 資 産	465,007	負 債 合 計	592,988,376
建 物 附 属 設 備	4	(純 資 産 の 部)	
構 築 物	464,999	資 本 金	44,070,000
車 両 運 搬 具	1	資 本 金	44,070,000
工 具 ・ 器 具 及 び 備 品	3	利 益 剰 余 金	△ 220,488,882
投 資 そ の 他 資 産	9,635,238	繰 越 利 益 剰 余 金	△ 220,488,882
出 資 金	100,000	(うち当期純利益)	(46,549,808)
長 期 前 払 費 用	261,406		
開 設 者 預 託 保 証 金	8,973,832	純 資 産 合 計	△ 176,418,882
保 証 金	300,000		
資 産 合 計	416,569,494	負 債 ・ 純 資 産 合 計	416,569,494